



第 11 号 平成 24 年 4 月 2 日

横浜市地域まちづくりグループ ぐるっと緑道・遊歩道研究会

発行責任者 塩入広中 (090-7275-1361)

ぐるっと緑道・遊歩道研究会は、中川駅前商業地区を活性化するため、中川駅前商業地区振興会、周辺町内会・自治会、学校等の協力を得て、2012年度は下記の取組をします。

1. 横浜市の「まち普請制度」*を使い、商業地区内の中央遊歩道を魅力的な空間に改善する。
2. 商業地区活性化協議会を立ち上げ、中川駅周辺の広場や遊歩道の「利用ルール」を作り、そのルールの下で「ふれあいフェスタ」等のイベントを開催する。

*まち普請制度：市民が身近なまちの整備に関する提案を募集し、2段階にわたる公開コンテストで選考された提案に対し、最高500万円の整備助成金を交付するものです。

中川駅前商業地区の中央遊歩道ルネッサンス計画（案）

—地域住民の絆をつくり、魅力ある緑道をつなげる—

I 中川駅前商業地区の現状及び課題

- 中川駅前商業地区は、センター北に大規模商業施設ができた為に、人の通りも少なく、空き店舗が目立ってきている。
- 中川駅北側に位置する「商店街通り」は遊歩道の幅が12メートルもありながら、画一的な舗石を並べ貧弱なハナミズキが数本と無機質な空間となっている。
- 今後の地域の高齢化を考えると、近隣商業地区への買い物もままならない住民にとっては不便で暮らしにくいまちとなるおそれがある。しかし、当地域に大規模商業施設を呼び込むことが困難な現状を踏まえると、地域のみんなでまちを育てることが必要となる。



II ルネッサンス計画（案）の概要

中川駅周辺での「くらし」を支援する拠点づくりをめざし、地域資源であるくさびえの道（緑道）と烏山公園を結ぶ中川商店街の中央遊歩道（幅12メートル長さ500メートル）を誰もが楽しく集い、憩い、交流する通り・広場として、地域のみんなで再生（ルネッサンス）します。

（1） みんなで育てる魅力ある遊歩道

- ① 現ハナミズキを再生し、木陰の並木道
- ② ふれあう花壇と花フェンス
- ③ ひなたぼっこベンチ

（2） 人びとが集まり・ふれあう手作り広場

（ア） パレット中川前の広場

- ① 人が集まり休憩・イベント等の広場
- ② 井戸を設置（子どもの遊び場・高齢者等の団欒の場、花壇の水やり用、災害時の水確保）
- ③ 広がりのある階段下に舞台施設を設置
- ④ 木陰のできるシンボルツリーを配置
- ⑤ ベンチを置き、休憩スペースを確保。テーブルを置いてオープンカフェ

（イ） 自転車が通らない道路片側の広い段差スペースの活用

- ① 花壇とベンチの設置
- ② 小さな子どもの遊び場
- ② 小中学生の絵画コーナー

（3） 中川地区周辺の魅力アップ大作戦

① 遊歩道マップや案内板の設置

誰でも宝探しのような発見ができるマップや案内板の作成（広場にオープンカフェあり、日曜市の開催、烏山公園5月には金蘭・銀蘭が開花、公園池でかわせみ発見など）

III 期待される効果

- ・マップや遊歩道の整備により、自然と中川中央遊歩道へ人が導かれ、賑わいが創出される。
- ・オープンカフェ等憩いの場が提供され、人の集まる機会が増加する。
- ・イベント広場が常設されているため、定期的に行うイベントの広場として、各団体の練習や発表の場として活用され、地域コミュニティの拡大に寄与する。
- ・住民参加によるイベント広場や遊歩道において交流が生まれ、地域の連帯の意識が醸成される。
- ・マップ・案内版の整備によりこの地域を訪れる人が増加することで、中川商店街を中心とした中川地区の魅力が再発見される。

IV 参加型まちづくり

- ・住民で具体的アイデア、計画を議論する
- ・住民による花壇制作等への参加
- ・町内会・自治会、学校、グループ、商店、地権者等、住民や様々なグループが中央遊歩道の継続的な保全作業や良好な維持管理

V スケジュール

2012年5月10日	まち普請第一次提案申請	2013年2月初旬	まち普請第二次コンテスト
6月20日頃	まち普請第一次コンテスト	2013年4月～	コンテストに合格した場合
～11月末	提案の具体化検討		予算化と工事
12月	まち普請第二次提案申請		